

情報公開文書

研究の名称	組織アレイを用いた、消化器癌・内分泌癌における新規バイオマーカーの発現解析
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 （所属・職名および氏名）	消化器・腫瘍・総合外科(第二外科) 助教 関根 慎一
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。</p> <p>【研究の目的・方法】 現在、2人に1人が癌になると言われています。部位別の罹患数や死亡数では、食道癌・胃癌・大腸癌・膵癌・胆道癌・内分泌癌に加え、女性では乳癌も高い割合で推移しております。本研究の目的は、細胞の水チャンネル（膜タンパク）であるアクアポリン（AQP）が治療の効果と関連していることを確認し、トランスレーショナルリサーチにおける新たな鍵となる分子になると期待されます。</p> <p>治療時に診療目的で採取されているホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）ブロックを用いて Tissue Microarray (TMA) を作成し、免疫組織染色によって膜タンパク関連分子の発現を確認します。臨床病理学的因子との相関を解析します。それらの結果と、電子カルテから抽出した臨床病理学的因子との関連を統計学的に解析します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2030年3月31日</p> <p>【研究対象者】 2008年1月から2026年1月に、富山大学附属病院で消化器（食道・胃・大腸・肝臓・膵臓・胆道）・内分泌癌（乳腺・甲状腺）に対する手術を受けた患者さんのうち、ホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）ブロックによる解析が可能な方が対象です。</p> <p>【研究資金、利益相反の状況】 利益相反はありません。</p> <p>【個人情報の取扱い】 本研究で取り扱う診療情報等は、個人が特定できないように匿名化（または研究用 ID を付与）したうえで解析を行います。研究に使用する情報は、研究責任者の管理のもと厳重に保管し、研究目的以外に使用することはありません。</p>

	<p>【研究結果の公表の方法】 国内外の学会や学術雑誌にて発表予定です。</p> <p>【試料・情報の他機関への提供有無】 無</p> <p>【外国にある者への提供について】 該当なし</p>
②利用又は提供する試料・情報の項目	<p>【試料・情報の項目】 研究に用いる試料： 手術時に診療目的で採取され病理部で保管されている、ホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）ブロック ・患者背景、臨床病理学的特徴、検査所見、画像所見、治療内容（手術、薬物療法、放射線療法）、治療後成績（合併症、生存期間、再発形式）、手術内容、術後合併症の頻度。術前術後化学療法の有無とレジメ、最終確認日、予後。 本研究で得られた研究対象者の情報等は、現時点では特定されない将来の研究のために用いる可能性があります。その場合には、改めて研究計画書を作成又は変更し、必要に応じて審査委員会の承認及び、研究機関の長の許可を得ます。（他機関への提供は行いません）</p>
③利用又は提供を開始する予定日	<p>【利用又は提供を開始する予定日】 2026年5月1日</p>
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	富山大学附属病院長・山本 善裕
⑤提供する試料・情報の取得の方法	既存の検体と電子カルテ情報を用いた後ろ向き観察研究であります。
⑥利用する者の範囲	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院長・山本 善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7331 FAX 076-434-5043 E-mail sekky@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学消化器・腫瘍・総合外科 関根慎一</p>